

# ～かごしまの遺跡～

## 創刊号



平成25年6月24日発行

## 公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センターが発足

「埋蔵文化財調査センター発足に当たり」 (公財)埋蔵文化財調査センター長 富田 逸郎



本年4月1日をもって公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターを発足させることができました。関係機関、各位のご尽力のたまものと、深く感謝いたします。

私たち埋蔵文化財調査センターに与えられた役割は、東九州自動車道建設や南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財の記録保存調査が今後増大することが見込まれるため、その調査を円滑に、かつ効率的に実施することにあります。

言うまでもなく、東九州自動車道や南九州西回り自動車道は県勢の浮揚、発展のための基幹インフラストラクチャーであり、県民一同、その一日も早い完成を待ち望んでいるところであります。一方、その建設予定地には、県民共有の歴史遺産である埋蔵文化財が包蔵されており、その保護も必要とされるところであります。この基幹インフラストラクチャー建設の推進と文化財保護は決して背反するものではなく、両立させようのものであり、関係機関がそのご努力を今まで続けてこられました。

私たちが、その一翼を担うべく発足したところであり、今までの関係機関のご努力を手本とし、さらなる円滑化、効率化に努めてまいります。

さて、本年度は、8件11遺跡約114,000㎡の記録保存調査と6件7遺跡の整理・報告書作成業務を鹿児島県教育委員会から受託致しました。そのうち、5件5遺跡93,000㎡の記録保存調査については、民間調査組織に調査支援業務を再委託し、調査期間の大幅な短縮を図ります。同時に、調査精度も従来の水準に劣ることのないよう、職員一同研鑽を重ねて参る所存でございます。

今後とも関係機関、各位のご指導、ご協力をお願いしますとともに、いたらぬところがありましたら、率直なご指摘を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 平成25年度 発掘調査開始



天神段遺跡発掘調査風景

### 設立の趣旨

これまで、鹿児島県立埋蔵文化財センターが様々な開発事業に先立ち、文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘調査を行ってきました。しかしながら、近年、東九州自動車道建設及び南九州西回り自動車道建設などの国の道路建設事業等の増加に伴い、埋蔵文化財調査の事業量も増大することが見込まれ、その対応が困難な状況になってきました。

そこで、公益財団法人鹿児島県文化振興財団に埋蔵文化財調査センターを本年4月に設立し、国事業に係る発掘調査を円滑かつ効率的に実施することといたしました。

また、当調査センターは、埋蔵文化財発掘調査をとおして、本県の文化活動の一層の活性化と個性豊かな文化の薫り高い地域社会づくりへの寄与を目指します。



## Ⅲ 事業概要

### (1) 発掘調査

遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(延)	内容	調査起因事業
天神段遺跡ほか	大崎町	H25.6～H25.10	8,000㎡	記録保存調査	東九州自動車道建設 〔国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所〕
立小野堀遺跡	鹿屋市	H25.11～H26.3	8,935㎡		
田原迫ノ上遺跡	鹿屋市	H25.6～H26.1	17,050㎡		
牧山遺跡	鹿屋市	H25.6～H26.1	23,000㎡		
町田堀遺跡	鹿屋市	H25.6～H26.1	20,850㎡		
永吉天神段遺跡	大崎町	H25.6～H26.1	25,400㎡		
荒園遺跡	大崎町	H25.6～H26.1	6,900㎡		
天神段遺跡	大崎町	H25.4～H26.3	/	整理作業	
立小野堀遺跡	鹿屋市	H25.4～H26.3			
田原迫ノ上遺跡	鹿屋市	H25.4～H26.3			
中尾遺跡ほか	出水市	H25.5～H25.9	3,750㎡	記録保存調査	南九州西回り 自動車道建設 〔国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所〕
堀之内遺跡	薩摩川内市	H25.4～H26.3	/	整理・報告書作成	
中郡遺跡群	出水市	H25.4～H26.3			
中尾遺跡ほか	出水市	H25.9～H26.3	/	整理作業	

### (2) その他

項目	内容
県立埋蔵文化財センターとの連携, 協力	県立埋蔵文化財センターの施設や設備等の利用に係る連携, 協力及び当調査センターの調査内容などを情報提供
縄文の森との協力	縄文の森が主催する遺跡見学会等の普及・啓発事業への協力
要覧・「かごしまの遺跡」	要覧及び当調査センターの事業内容を紹介するリーフレットの作成

## 「祝 辞」

鹿児島県立埋蔵文化財センター 所長 井ノ上 秀文



「かごしまの遺跡」の創刊に当たり、心よりお祝い申し上げます。近年、全国的に埋蔵文化財の発掘調査等に従事する職員や調査に要する経費が減少傾向にある中、本県においては、国による東九州自動車道や南九州西回り自動車道の建設等に伴う発掘調査事業が増加していくことが見込まれています。

このような状況の中、平成25年度から新たに公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターが設立され、増加傾向にある国事業に係る発掘調査等に従事されることになりました。

これまでの鹿児島県立埋蔵文化財センターによる事業実施に比し、職員の確保や予算の運用面等でより柔軟に対応しながら、円滑な発掘調査事業が展開されるものと期待しております。

今後とも、私ども鹿児島県立埋蔵文化財センターと互いに緊密に連携しながら、本県の埋蔵文化財行政の充実発展に寄与してまいります。

最後に、貴センターの今後の御発展と御活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

## 「相乗効果に期待」

鹿児島県上野原縄文の森 園長 有川 昭人



(公財)鹿児島県文化振興財団「埋蔵文化財調査センター」の開所にあたり、心から歓迎の意を表します。鹿児島県上野原縄文の森では、これまで県立埋蔵文化財センターと連携を図りながら、国指定史跡「上野原遺跡」の保存や南の縄文文化を核とした情報発信、普及啓発活動等に努めてきました。

このたび、当財団内に専門的な発掘調査を担う部門が誕生したことは、発掘調査を基盤とした調査研究と、企画展示・体験活動を軸とした教育普及活動の相乗効果により、これまで以上に充実した文化活動の展開や、当財団の独自性をより高めること、発信力のさらなる強化につながるものと期待しています。

今後とも、県立埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センター及び上野原縄文の森の三者が連携・協力し、県民文化の振興に寄与していくことを祈念して祝辞といたします。

ながよしてんじんだん

## 永吉天神段遺跡(曾於郡大崎町永吉)

永吉天神段遺跡は、東九州自動車道建設に伴い、平成24年度から発掘調査を行っています。本年度も、6月から調査を行っています。

昨年度、約7,300年前の地震による液状化現象(噴砂跡<sup>ふんさ</sup>)が発見されました。噴砂跡は、現在の三島村近海にある鬼界カルデラの噴火で積もったアカホヤ火山灰の軽石層と火山灰層の間に存在するので、この時の地震によって起きたと考えられます。

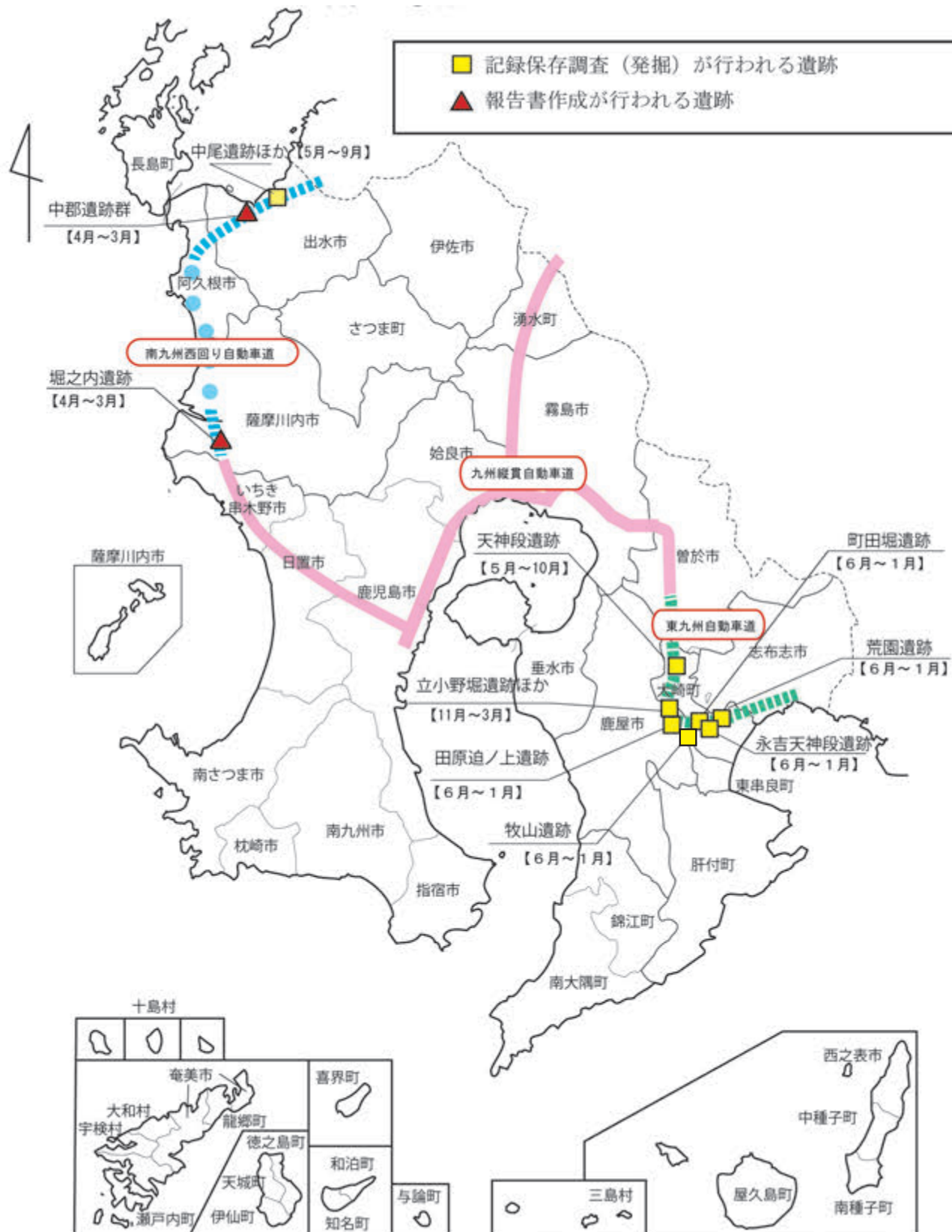
液状化現象は、震度5以上の揺れで起きるとされており、当時これに相当する揺れがあったことが分かりました。

南海トラフに伴う地震では、震度6が想定されており、この地域の減災・防災を考える重要な資料です。なお、川向かい<sup>あそ</sup>の荒園遺跡でも同様の噴砂跡が発見されています。



噴砂跡の写真

# 平成25年度 発掘調査予定遺跡



(公財)埋蔵文化財調査センターのホームページは、  
 上野原縄文の森(<http://www.jomon-no-mori.jp>)または、  
 鹿児島県文化振興財団(<http://www.houzanhall.com/zaidan/>)の上野原縄文の森からお入りください。県立  
 埋文センターの見学は、土日・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

クリック

## かごしまの遺跡 創刊号

発行日 平成25年6月24日  
 編集・発行 (公財)埋蔵文化財調査センター  
 〒899-4318 鹿児島県霧島市  
 国分上野原縄文の森2番1号  
 TEL 0995-70-0574・FAX 70-0575  
 URL:<http://www.jomon-no-mori.jp>  
 E-mail:maibunchosa@tuc.bbq.jp